

本ネットワーク

東海・信越・北陸

JAPAN METAL BULLETIN
Local Network

北信越支局

NIGATA

〒950-0088

新潟市中央区万代四丁目2番23号

オフィス万代301

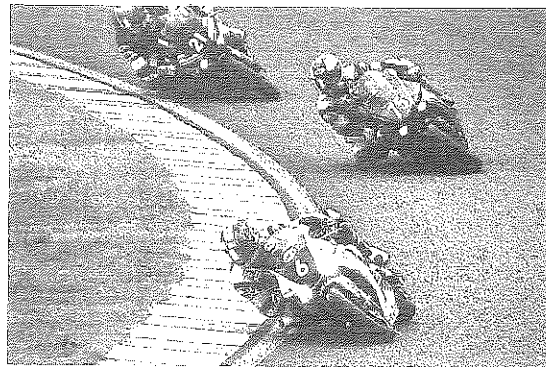
TEL (025) 244-7600 FAX (025) 244-7601

オーファ社長

細川 寿一氏

国内バイクロードレースの最高峰、鈴鹿8耐への挑戦は今年で4回目となる。

「昨年からはマシンを変えたため実質、2年目の挑戦といえる。マシンの性能は把握できてきたが、その能力アップについていけるタイヤの確保など悩みは尽きなかった。だが、最終的に目標であった20位以内となる19位を達成することができた。これもスポンサーやチームメイト、社員の協力のおかげと感謝している」



過去最高成績の19位

「挑戦」する男たちがいる。経営者、社長といった責任ある立場になっても、失敗を恐れずチャレンジし続ける姿は人々に感動を与える。今回、スポーツの分野で「挑戦」する二人の非鉄業界の経営者に話を聞いた。

(服部 友裕)



室内

また、レースを通じて、新たなビジネスも生まれている。レース場には企業トップも来場する。そこでの出会いは貴重なものと感じている」

「この4年間、順調に順位を上げてきたが、「順位だけを見ると順調だが、決して順風満帆ではない。人、資金、マシン、仕事と悩みは尽きない。常に考えながら一歩ずつ前に進んできた。また、目標も毎回レベルアップしている。今回は本選に挑む前のレース参加数が増えたほか、高性能タイヤの確保に苦戦した。プライベーターとしての参加で、上位を目指し難しさも感じている」

「チームを率いる上で、最も苦労したポイントは何か。」

「一番苦労したのは、やはり人だ。われわれは混成チームであり、自社スタッフだけでなく、他社からの協力も必要で、最善の方法を探し続けてきた」

「社内はどうか。」

「8耐出場場で社内に変わると、レーススタッフもいる程度の人材が必要だ。スケジューリングにも苦労した。ただ、毎回、社員は全員、本当に良く協力してくれており、深く感謝している」

鈴鹿8耐、最高19位

製品への理解・誇り高まる

「主力商品のチタンは二輪車向けの需要が多く、エンジンストロークやサイレンサー、ボルトなどにチタンが用いられる。国内最高峰のロードレースに参戦したきっかけは、」

「アップしている。今回は本選に挑む前のレース参加数が増えたほか、高性能タイヤの確保に苦戦した。プライベーターとしての参加で、上位を目指し難しさも感じている」

「社員もそれぞれに考へがあり、レースへのモチベーションは当然のことながら、個々に違っている。彼らの気持ちを如何に盛り上げていくかに考えを巡らせた。また、」

「「目に見える効果としては開発力が高まった。今回、レースで使用するスイングアームと給油チャージャーを自社で開発。走行性能が安定し、ピットでの給油時間は従来よりも約5秒短縮した。また、レースを通じて、」

挑戦

6・8耐は決して速くなくなったことはあったが、経営者もお互いがプロフ

「あくまで成果を年々出するのは営業に従事している社員であって、社長が走ったからと言って注目の最中では山の中の敷地や腰まで雪に埋



前列右から2人目が細川社長

「来年も鈴鹿8耐に挑戦したいと考えている。今回、応援して下さいの皆様のご支援のおかげで過去最高の19位に入ることができた。ピット作業もミスなく行うことができたことが大きかった。ここからさらに上位を目指すためには、もう一段のレベルアップが必要になる。だが、みんなを力合わせて、来年も今年を上回る成績を目指していきたい」